

行政報告

令和7年9月1日

令和7年清瀬市議会第3回定例会の開会にあたり、行政報告を申し上げます。

初めに、本定例会に提案しております令和6年度一般会計決算の概要についてご報告申し上げます。

歳入総額は385億514万2千円、歳出総額は370億9,282万円で、歳入歳出の差し引き額は14億1,232万2千円となっております。また、翌年度へ繰り越すべき財源1億3,474万7千円を差し引いた実質収支については12億7,757万5千円となっております。

歳入では、国庫支出金、財産収入、寄附金が大きく減少しましたが、地方特例交付金、地方交付税、都支出金が増加したことなどにより、前年度よりも総額で2億8,730万2千円の増額となりました。一方、歳出では積立金が大きく減少したものの、物件費や扶助費が増加したことなどにより、前年度よりも総額で9億8,372万3千円の増額となっております。

このような中、まず、歳入の内訳でございますが、市税につきましては令和5年度に続き100億円を超えましたが、個人市民税の減少などにより2,793万2千円の減少となっております。これは定額減税の影響がございまして、地方特例交付金により減収分の補填がされており、その結果、地方特例交付金は、3億2,922万1千円の増額となっております。また、地方交付税につきましては、給与改定分等の追加財政措置が再算定で行われたことなどにより、4億7,061万9千円の増額となっております。

歳出では、財政調整基金積立金が大幅に減少したことに伴い、積立金が7億2,100万3千円の減少となったものの、地方創生推進事業の皆増やDX推進事業の増加により、物件費が8億1,904万6千円の増加、調整給付金、自立支援給付の増加により、扶助費が6億4,322万8千円増加するなどにより全体で9億

8,372万3千円の増額となっております。

また、経常収支比率につきましては、分母となる経常一般財源において、市税が微減となったものの、地方特例交付金や地方交付税の増加などにより、前年度よりも8億6,492万1千円の増加となった一方、分子となる経常経費充当一般財源が、物件費をはじめとし、人件費、扶助費、補助費等と、多岐に渡る増加などにより、前年度よりも12億1,180万9千円の増加となったことから、前年度の93.9%から2.3ポイント悪化の96.2%となっております。

歳入の根幹である市税収入は、地方特例交付金と合わせますと前年度をなんとか上回っておりますが、大幅な増加には至らない結果となっております。物価高騰が続く社会情勢の中、歳入増が追い付かない現象が起きており、今後においても伸び続ける社会保障関係経費、公共施設の整備や老朽化への対応など、市財政を取り巻く環境は厳しさが増していくものと考えております。今後も、これまで以上に健全な財政運営に努めていく所存でございます。

次に、南部児童館等複合施設及び中央公園整備工事について2点申し上げます。

1点目は、南部児童館等複合施設の愛称について申し上げます。

令和8年2月オープン予定の南部児童館等複合施設の愛称について、市報きよせ令和7年4月1日号などで募集したところ、合計116件の応募がありました。愛称選定委員会による厳正なる審査の結果、愛称は「まつぼっくる」に決定いたしました。

「まつぼっくる」とは、市内松山地域の松、松の球果である松ぼっくり、市内北部にある清瀬市児童センターの愛称「ころぼっくる」を組み合わせた言葉で、「ころぼっくる」と対になり、誰もが親しみやすく呼びやすい愛称になりました。

松林は今も昔も大切に保全をしている清瀬の象徴の一つでもあり、複合施設を利用する方が自然のぬくもりを感じ、ゆったりとした時間を過ごす癒しの場となってほしいといった思いが込められております。

2点目は、夢空間復活プロジェクトクラウドファンディング第2弾について申し上げます。

新たなにぎわいの創出のため、豪華客車「夢空間」を現役当時の姿に復活させ活用・保存し、後世に引き継いでまいります。第1弾のクラウドファンディングを経て、令和7年8月現在、車両の外装塗装をほぼ完了いたしました。

このたび、内装修復費用の一部を賄うために、第2弾のクラウドファンディングを本日9月1日月曜日から11月30日日曜日まで実施いたします。

今回は、現役当時ダイニングカーで提供されていた復刻メニューや清瀬産食材を使ったメニューをお楽しみいただけるといった特別な体験や厳選されたリターン品をご用意しておりますので、多くの皆様のご協力をいただければと思います。

次に、清瀬市大江戸線等新駅建設推進期成同盟会の設立について申し上げます。

都市高速鉄道12号線の延伸につきましては、新座市、清瀬市、所沢市及び練馬区で構成する「都市高速鉄道12号線延伸促進協議会」に加入し、東京都や埼玉県に要望活動などを行っているところではございますが、市を挙げて積極的な運動を展開することにより、早期実現を目指すため、「清瀬市大江戸線等新駅建設推進期成同盟会」の設立に向けて準備を進めております。

都市高速鉄道12号線の延伸ルート上の地域にある地元自治会の会長などをはじめ、会の趣旨にご賛同いただける方を中心に組織する予定で、去る8月21

日本曜日に清瀬市大江戸線等新駅建設推進期成同盟会設立準備会を開催し、ご参加いただいた方から会の設立についてご賛同をいただいたところでございます。今後も都市高速鉄道12号線等の新駅建設の早期実現に向けた様々な取り組みを進めてまいります。

次に、シティプロモーション事業について、申し上げます。

はじめに、本年10月1日の清瀬市市制施行55周年を記念した、本市を舞台にした映画制作について申し上げます。

映画制作にあたっては、市民との協働に重点を置き、市民参加の各種ワークショップの開催を行ったほか、エキストラや撮影にもご協力をいただきました。

なお、撮影については既に完了し、現在、制作会社による編集作業中であると伺っております。

映画のタイトルは「Hello, my friend (ハローマイフレンド)」で、完成した暁には、本年10月5日日曜日に清瀬けやきホールで試写会を開催いたします。制作にご協力をいただいた市民の皆様や関係者の皆様のほか、市制施行55周年を記念し、55人の市民の皆様を抽選でご招待させていただく予定でございますので、ぜひご応募いただければと存じます。

令和8年を目途に劇場公開も予定しており、本市の知名度向上や魅力のPRにつながるものと期待しております。映画の撮影地は全て清瀬市となっておりますので、ぜひ劇場まで足をお運びください。

次に、清瀬結核サミットについて申し上げます。

清瀬市と結核との関わりを広く国内外にプロモーションするとともに後世に引き継いでいくため、「清瀬結核サミット」を11月28日金曜日に清瀬けやき

ホールにて開催いたします。

本市と結核療養に関する歴史の紹介とともに、現在も結核撲滅に向けて積極的に活動されている結核予防会様、日本BCG製造株式会社様をはじめ、関係機関からの活動報告、専門家による基調講演、JICA国際研修生と英語でトークなどを中心に実施いたします。

現在、開催に協力いただける中高生を中心とした「清瀬結核サミットアンバサダー」にご応募いただいた方に、清瀬と結核との関わりについての講座を全3回実施いたしました。講座の様子と内容は清瀬市公式 Youtube で見ることができますので、是非ご視聴いただきたいと存じます。

「清瀬結核サミット」を通じて、市民の皆様が本市と結核との関わりについてより深く理解し、自らのまちに誇りと愛着を抱いていただけるよう、しっかりと準備してまいります。

次に、平和行政について申し上げます。

日本非核宣言自治体協議会の第42回総会が、5月29日木曜日に「那覇文化芸術劇場なは一と」で開催されました。総会では、清瀬市長として、ご来場の皆様の前で核兵器廃絶に向けて具体的な行動が必要であることと、住民の生命と暮らしを守る責任がある地方自治体として、核兵器のない世界の実現に貢献していく旨を述べた総会決議文の読み上げを行いました。

本年は、戦後80年という節目の年を迎え、8月23日土曜日にアミューホールで平和祈念フェスタ in 清瀬を開催いたしました。フェスタでは、ピース・エンジェルズとして被爆80年の広島に派遣した児童・生徒の皆さんから、平和記念式典や平和記念資料館などで学んだこと、印象に残ったことについて発表があるなど、命の尊さと平和の大切さを考える機会となりました。

また、本年度も、広島県内の障害福祉施設のご協力をいただき、世界各地から送られております平和の願いが込められた折り鶴を再活用しました、清瀬市オリジナルの「おりづるコースター」を作製し、市立小学校に入学した1年生の児童の皆さんに配布しました。引き続き、市内の飲食店や市民の皆様にご協力いただき、「おりづるコースター」の販売で集まった寄付金を広島市にお渡し、広島平和記念資料館の収蔵資料の保存などの活用につなげてまいります。

次に、清瀬ひまわりフェスティバルについて申し上げます。

今年で15回目を迎えた清瀬ひまわりフェスティバルは、厳しい暑さや雨不足により生育が心配されましたが、7月26日土曜日の開会式には大輪の花を咲かせ、開催期間を通して元気に咲くひまわりの花をご覧いただくことが出来ました。

今年度は、スポットクーラーや一面のひまわりを堪能できる特別休憩所の設置、街バルイベントきよ飲みをはじめとするフェスティバル開催期間中に実施されたイベントとの連携などの新たな取り組みを展開する中で開催し、連日の記録的な猛暑にもかかわらず、昨年度を上回る約3万4千人もの皆様にご来場いただきました。開催期間中の事故もなく、多くの皆様に清瀬ひまわりフェスティバルをご堪能いただきました。

次に、きよはちサイダーの販売について申し上げます。

清瀬市観光協会にて開発したきよはちサイダーが7月26日土曜日に販売を開始いたしました。きよはちサイダーは清瀬市役所の屋上で採蜜したはちみつを使用した、ほのかに蜂蜜の香りが感じられるオリジナルサイダーとなっております。

ひまわりフェスティバル会場やサマーウォーターフェスティバル等の催事、市内のコンビニエンスストア等で販売をしておりますが、大変好評をいただき、初回生産分の3,000本はほぼ全て売り切れてしまっている状況でございます。

現在、追加生産をしておりますので、生産できましたら改めて市内外の皆様にお楽しみいただきたいと思います。

次に、きよせの環境・川まつりについて申し上げます。

「来て、見て、体験しよう」をテーマに、2025きよせの環境・川まつりを7月26日土曜日に台田運動公園と柳瀬川で開催いたしました。当日は、市内外から4,100人の皆様にご来場をいただきました。今回は32団体による環境関連ブースが並び、その中には北海道音威子府村立音威子府小・中学校によるパネル展示もあり、遠藤村長、高橋教育長にもご参加いただきました。

各団体の展示や体験コーナー、スタンプラリーのほか、川では水中観察や、水に浮かぶ大きな風船の中に入り水上散歩を体験するウォーターバルーンなどが行われ、清瀬の自然の中で夏休みの一日を存分に楽しんでいただくことができました。

今後も市民の皆様が自然体験を通じて環境保全への意識を高めていただけますよう、実行委員会の皆様と連携してまいります。

次に、がん検診について申し上げます。

市では、市民の皆様の健康増進を目的として、令和7年度から胃がん検診に内視鏡検査を導入いたしました。この検査は、より精密でがんの早期発見が期待できる検査でございます。今年度は290人の方からお申し込みがあり、7月より市内の3か所の医療機関にて検査を開始しております。

市民の皆様の健康を守るため、今後さらになん検診受診率の向上を目指して取り組んでまいります。

次に、児童生徒国内派遣事業について申し上げます。

今年度新たに創設した「児童生徒国内派遣事業」について申し上げます。

この事業は、生涯学習の一環として、市内の中学生が自ら学びたいことや、関係する訪問先を企画、立案し、現地を訪問することで、広くその実情を直接見て、聞いて、学ぶことを目的としています。こうした体験を通じて、生徒が主体性を育み、たくましく生きる力を養うことを目指しております。

派遣を希望する生徒には、プレゼンテーション講座や旅行企画立案の支援を行った上で、6月28日土曜日に開催したプレゼンテーション審査会にて、派遣生を選考いたしました。

この審査会には8組の中学生グループがエントリーし、いずれの提案も自ら発見した課題を深く学びたいという熱意が強く感じられる、素晴らしい内容でした。審査の結果、清瀬中学校の1年生2人による提案「長崎県訪問を通じた外国貿易の歴史や平和学習」が採用されました。

派遣は10月に2泊3日の予定で実施され、主な訪問先として大浦天主堂、出島和蘭商館跡、グラバー園、長崎原爆資料館などが含まれております。これらの施設を訪問することで、派遣生がさらに充実した学びと有意義な経験を得られるよう、引き続き支援してまいります。

また、派遣終了後には令和8年3月の報告会にて、現地での学びの成果を生徒自身が発表する予定です。今後の成果報告を楽しみにしていただければ幸いです。

次に、清瀬子ども大学について申し上げます。

「清瀬子ども大学」は、地域の教育資源を最大限に活用し、学校教育の枠を超えた体験型の学びの場を子どもたちに提供することを目的とした事業で、毎年継続的に実施しております。

今年度は5月に国立看護大学校で開催した「看護の部」を皮切りに、8月に実施した「俳句の部」まで合計7つの学部を開講いたしました。今年度は従来の「看護」「俳句」「理科」「薬学」「気象」の学部に加えて、新たに「アニメーションの部」と「食品の部」を設けました。

新設した「アニメーションの部」では、市内のアニメーション制作会社である「ゆめ太カンパニー」様にご協力いただき、「食品の部」では清瀬市産の生乳を100%使用したフレッシュチーズを製造している「GOOD CHEESE LABORATORY（グッド チーズ ラボラトリー）」様にご支援をいただきました。これらの新学部の開設は、地域振興部や観光協会と教育委員会の連携・協働によって実現したものでございます。

来年度以降も関係機関との連携をさらに深めながら内容を充実させるとともに、より多くの子どもたちに学びの機会を提供できるよう取り組んでまいります。

次に、手数料の支払いにおけるキャッシュレス決済の導入について2点申し上げます。

1点目は、本日9月1日より、各種証明書など、郵送請求の支払い時にご利用いただける郵送キャッシュレス決済を導入いたしました。

この導入により、これまで手数料の支払いに郵便局で定額小為替を購入していただく必要がありましたが、各種クレジットカード又はPayPayによる支払い

が可能となりました。

本システムの導入により、利用者の利便性向上及び行政の効率化を図ってまいります。

2点目は、粗大ごみ処理手数料のキャッシュレス決済の導入について申し上げます。

10月1日水曜日より粗大ごみの収集をインターネットで申し込まれる方は、PayPay とクレジットカードでの粗大ごみ処理手数料のお支払いが可能になります。従来の「粗大ごみ処理券」をご購入することなく、粗大ごみを排出していただくことができるようになります。

今後も市民生活の利便性の向上に努めてまいります。

次に、第22回国勢調査について申し上げます。

10月1日水曜日を調査期日とする、「第22回国勢調査」が全国一斉に実施されます。

この調査は、日本国内に住むすべての人と世帯を対象として、5年に一度行われる国の最も重要な統計調査であり、調査結果は国政のみならず、今後の市政の方向性を決定する上での大切な基礎資料ともなります。

9月20日土曜日から調査員が各世帯を訪問し調査の説明や調査票を配布いたしますので議員の皆様を初め、市民の皆様のご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

次に、今後実施する事業について5点申し上げます。

1点目は、アイレックまつりについて申し上げます。

第30回アイレックまつりを10月11日土曜日、12日日曜日の2日間で開

催いたします。今年のアイレックまつりでは、ジェンダー平等について若い世代に人気のある漫画家の瀧波ユカリ（たきなみゆかり）様とライターの武田砂鉄（たけださてつ）様による対談の他、自分を大切にすることをテーマにしたワークショップ「自分だいすきパーティ！」の開催を予定しております。

今年で開設 30 周年を迎えるアイレックの記念事業と連動した「男女共同参画ポスター」展示や「アイレックロゴマーク」の投票会も併せて実施しますので、多くの市民の皆様にご来場いただきたいと思っております。

2 点目は、ことりばビジネスチャレンジコンテストについて申し上げます。

女性活躍推進のための起業支援をはじめ、市民の皆様の多様な働き方を促し、地域産業の振興とまちの活性化に向けた取り組みとしてビジネスチャレンジコンテストを実施いたします。

女性やシニア、地域で起業したい方に向けたイベントで、地域で輝くアイデアを持つ参加者を募集し、企画力とそのプレゼンテーションにより、グランプリを決定します。

最終審査は 10 月 17 日金曜日に実施し、一次審査で選ばれたファイナリストを多くの皆様に応援いただけるよう一般公開により開催いたします。

3 点目は、きよせ市民まつりについて申し上げます。

10 月 19 日日曜日に、第 43 回目を迎えるきよせ市民まつり 2025 を開催いたします。

今年も市民の皆様による出店やステージ発表を行い、市としての一体感を高めてまいります。また、今年は少人数でも参加できる第 2 ステージを設けるほか、ミニ SL やボンネットバス乗車体験などを新たに実施するなど、きよせ市民まつり実行委員会を中心に、皆様と一緒にお祭りをさらに盛り上げる催しを準備しております。

市民の皆様には、ぜひ、当日は市民まつり会場にお立ちよりいただき、地域の絆を深め、新たな交流を発見する機会として、お楽しみいただければと考えております。

4点目は、総合防災訓練について申し上げます。

10月26日日曜日に清瀬第四小学校、複十字病院において実施いたします。訓練内容は、清瀬第四小学校で、市民の防災意識の向上に資する展示や体験、清瀬市消防団等による倒壊家屋から負傷者の救出・救助する演習、清瀬市社会福祉協議会を中心とした防災手話講座等を行います。

また、複十字病院では、災害による負傷者の対応としてトリアージを中心とした災害医療救護訓練を行います。

常に発災時を想定し、地域住民の皆様を交えた、より実践的な訓練を実施してまいります。

5点目は、清瀬市農業まつりについて申し上げます。

11月15日土曜日、16日日曜日にコミュニティプラザひまわりを会場に、農業関係者のご協力のもと清瀬市農業まつりを開催いたします。

農業まつりでは農畜産物品評会や出品物の販売、野菜でつくられた宝船の公開とチャリティー配布など、清瀬が誇る農畜産物を存分に堪能いただける催しを予定しておりますので、多くの市民の皆様にご来場いただきたいと思います。

以上のほか、本定例会には、清瀬市一般会計補正予算などの案件をご提案申し上げますので、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます、行政報告といたします。